

質問に対する回答について
工事名) 磐越自動車道 束松トンネル工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回答
1	<p>契約関係図書</p> <p>① 入札公告（説明書）10頁</p> <p>技術評価項目及び技術評価基準、</p> <p>◇留意事項⑦、「過度なコスト負担」の事例について</p> <p>過度なコスト負担を要する事例として「計測機器の増設」を想定されています。想定されている「計測機器の増設」には、設計図書に示されている計測機器を新たな測点に設置することのほか、設計図書に示されていない計測機器を設置することも含まれるのでしょうか。ご教示ください。</p>	<p>過度なコスト負担を要する提案の対象となるか否かについては、自社でご判断のうえ、ご提案ください。</p>
2	<p>契約関係図書</p> <p>入札公告（説明書）10頁</p> <p>技術提案評価項目①：①地質脆弱部②近接施工部③土被り2.0D以下について、それぞれの範囲の具体的な距離程をご教授ください。</p>	<p>技術評価項目①の対象箇所の範囲は、設計図書を参考に、自社でご判断のうえ、ご提案ください。</p>
3	<p>契約関係図書</p> <p>入札公告（説明書）10頁</p> <p>新技術を提案する場合、施工実績がない場合でも試験施工結果や論文などのエビデンスがあれば、評価していただけるのか。ご教授ください。</p>	<p>技術提案書の作成にあたっては、契約関係図書の入札公告（説明書）、技術提案書作成説明書、及び契約関係様式『03 技術提案書関係様式1~2』における『参考資料：技術提案書 様式2 記載にあたっての留意事項』を参考に、自社でご判断のうえ、ご提案ください。</p>

4	<p>設計関係図書 特記仕様書 57 頁 29-46 調査ボーリング工(1)では「ロータリー式ボーリング機械により」と記載があり、一方(4)1)では「ロータリーパーカッション方式ワイヤーライン工法等により」と記載があります。上記どちらの工法を想定されているのか、ご教授ください。</p>	<p>調査ボーリング工 先進ボーリングの作業は、「ロータリーパーカッション方式ワイヤーライン工法」を想定しておりますが、参考図 13/45 工事工程表を参考に、貴社の施工計画に基づきお考えください。</p>
5	<p>入札公告（説明書）10 頁②、特記仕様書 33 頁 技術提案の評価項目②に「トンネル施工時（ずり処理工を含む）」とありますが、特記仕様書 29-17 (1) に記載されたずり処理工の施工内容の内、トンネル施工に直接関係する”トンネル掘削により生じたずりの掘削切羽からずり仮置き場への運搬”のみが、提案対象範囲との認識でよろしいでしょうか。ご教示ください。</p>	<p>技術評価項目②に示す「ずり処理工」は、特記仕様書 29-17 ずり処理工 (1) 定義に記載の通りとなります。</p>
6	<p>入札公告（説明書）10 頁 技術提案の評価項目②に「現場管理業務（品質管理、出来形管理等）」とありますが、トンネル施工に伴う測量業務、安全管理業務、資材管理業務も現場管理業務に含まれるとの認識でよろしいでしょうか。ご教示ください。</p>	<p>技術提案評価の対象となるか否かについては、自社でご判断のうえ、ご提案ください。</p>
7	<p>入札公告（説明書）10 頁 技術提案の評価項目②に「※評価項目①に関する内容は除く」とあります。計測工に関する生産性向上・省人化に関する提案は、評価対象外との認識でよろしいでしょうか。ご教示ください。</p>	<p>技術評価項目②に示す「※評価項目①に関する内容は除く」とは、技術評価項目①で提案した技術を技術評価項目②でも提案することは除くという意味になります。この内容を参考に、自社でご判断のうえ、ご提案ください。</p>